



別府市

環境課

1. こどもエコクラブとの活動

キャンドルナイト



平成28年6月18日(土)、夏至の日に先立ち、市内の保育園にて「やまなみこどもエコクラブ」「大平山友遊エコクラブ」の親子約100名が参加し、不要な電気を使用せずに必要最低限の灯りで過ごす「キャンドルナイト」を行いました。平成18年度から毎年開催し、今回で11回目となります。普段使っている灯りを消し、子どもたち自身が手作りしたキャンドルの灯りの中で、三重奏やハンドベルの演奏を聴いたり、パネルシアターを観たり、地球温暖化や節電などに関する〇×クイズをするなど、普段の生活とは違う時間を過ごすことで、地球温暖化問題や何気なく使っている電気の大切さについて考えるきっかけになったと思います。また、今回は市内の福祉施設「はーとふるほーむ春花」・「ぼっぽ村」の方も一部参加し、手作りのキャンドルを施設の周りに並べ、灯りをともしました。なお、このイベントの様子は市ホームページでも紹介しています。
※市HP URL (http://www.city.beppu.oita.jp/seikatu/kankyogomi/ondanka_eco/candle_night_event.html)



クールアース・デー(節電啓発活動)



平成28年7月7日(木)、クールアースデー当日に、「やまなみこどもエコクラブ」の子どもたちと、JR別府駅前では節電の呼びかけを行いました。平成24年度から毎年実施し、今年で5回目の活動になります。参加した子どもたちは、駅前を通りかかる人達へ、手作りの肥料や廃油せっけん、チラシなどを配りながら、「節電のご協力をお願いします!」と元気いっぱいに呼びかけました。
※クールアース・デーは毎年7月7日(七夕)で、地球環境の大切さを再確認し、低炭素社会への取り組みを推進するための日です。



2. 緑のカーテン

市役所本庁舎にて、5月中旬から9月中旬まで、節電や地球温暖化防止のため、「緑のカーテン」づくりに取り組みました。高さ3m×幅6mの窓一面をゴーヤの葉が生い茂り、直射日光を遮ることで、冷房の効果的な使用につながっています。また、収穫したゴーヤの実や種は「レシピア緑のカーテンの作り方を書いたチラシ」と一緒に市民の方に無料で配り、今後自宅などで取り組んでもらえるように呼びかけました。なお、市役所本庁舎での取り組みは、市ホームページでも紹介しています。
※市HP URL (https://www.city.beppu.oita.jp/seikatu/kankyogomi/ondanka_eco/green_curtain.html)



3. 環境新聞「エコ湧へく」

平成20年度から、年に4回(6月・9月・12月・3月)、環境新聞「エコ湧へく」を発行し、市内公立小中学校(小学校は4年生から)へ配ったり、町内で回覧して市民の方に読んでもらっています。この「エコ湧へく」では環境に関する様々なことをテーマに取り上げており、今年度は6月号ではエアコンのリサイクルや食器のリユースなど、9月号では夏に行った環境イベントの報告や特定外来生物など、12月号ではウォームシェアや大掃除などを特集しました。また、読み物だけでなく、パズルやイベントの告知を掲載することもあり、市民の方にとってわかりやすく、バラエティ豊かな誌面になるよう心がけています。なお、この「エコ湧へく」は、市ホームページでも紹介しています。



※市HP URL (<http://www.city.beppu.oita.jp/seikatu/kankyogomi/kanren/ecowaku.html>)



姫島村

生活環境課

- 平成28年12月に「花いっぱい運動」として、小学生と父母や地域住民による村内の植栽活動を行っています。(参加人数約300人)
- 地球温暖化防止活動推進員が、婦人会員などにマイバック運動の推進や、婦人会の発行する広報「のじぎく」に温暖化防止の協力などにつ

いての掲載をしています。

- 生ごみコンポスト化容器の購入に対する補助金の交付を行っています。
- 庁舎内や役場の施設では、エアコンの冷房は28度、暖房は20度に設定するようにしています。また、庁舎内の電灯や村内の街灯を蛍光灯から、消費電力の少ないLEDに交換しています。
- 村民の方に、ケーブルテレビ文字放送を通じて地球温暖化対策の協力をお願いしています。